

逢瀬さくらの里

活動場所：福島県郡山市逢瀬町地内

活動期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

事業概要：景地域の歴史文化や桜の管理技術に精通した逢瀬さくら守りを育成し、逢瀬さくらの里を次世代へと継承していく。



逢瀬さくらの里の会員が常に桜に目を向けて巡視を行うとともに、支柱の損傷箇所の手直しや枯れ枝の剪定、害虫の駆除も行っている。

7月と8月に逢瀬川沿い植栽箇所の草刈除草や清掃活動を行った。フラワーロードの整備として7月に地拵えと播種を行い、コスモスの品種は昨年度の経験をもとに花期の長い黄花コスモスを混合させ、2季咲きの桜アーコレードとコスモスの共演が見ることが出来た。9月には菜の花の種蒔きのため地拵えをおこない、播種にあたっては発芽の悪かった品種を除き2種類の菜の花の播種を行った。12月には雨風等で流滅したチップロードのチップ材の補充を行ったが、風雨の状況により定期的な補充が必要と感じた。

3月4日には先進地の視察研修として埼玉県営権現堂公園に伺い、NPO法人幸手権現堂桜堤保存会から公園の歴史から現在の状況や、管理運営での工夫など聞くことができおおいに参考となった。3月10日には枯損した桜の補植と同時に、施肥および支柱の撤去を会員全員で行った。3月14日には逢瀬さくら講座を開催し、「桜の名所の今」～逢瀬のさくらが名所になるには～をテーマに講演を行った。参加者には地元の方はもちろん、郡山市、造園業者、樹木医、もりの案内人、野鳥の会など多くの専門家の方々も参加し、質疑応答では活発な意見交換が行われた。